

平成30年2月23日

泉北環境整備施設組合
管理者 阪口 伸六 様

泉北環境整備施設組合プロポーザル審査委員会 委員長
(資源化センター運営維持管理業務委託事業者選定)

泉北環境整備施設組合資源化センター運営維持管理業務委託に係る事業者選定公募型
プロポーザル審査結果について

標記の件について、最優秀者を選定しましたので、選定委員会の審査結果及び講評を
報告します。

I 審査結果

最優秀者 : 株式会社日本管財環境サービス

審査項目/提案受付番号	(株)日本管財環境サービス
見積価格以外の得点	265.0
見積価格の得点	180.0
合計点	445.0
最低評価点数	390.0
審査項目	最優秀

II 講評

最優秀者に特定された株式会社日本管財環境サービスの提案は、数多く同種施設や類似施設の運転管理を行ってきた事業者ならではの、施設の事故防止や安定した処理、資源化の向上等経験や実績を活用したもので、さらに本件施設の運転管理を2年間行ってきた実務経験を踏まえた提案でありました。

運転管理体制においては、大幅なごみの変動等にも今まで以上に的確に対応できる体制

づくりや、現場の対応だけでなくグループ全体でのバックアップ体制の構築、実務経験が豊富な総括責任者の配置など、受入業務、維持管理業務については、実績を生かした、本件施設の特性や搬入資源物を理解したうえでの提案となっており、大変魅力的ものでした。また、雇用について、地元雇用や職員への採用や教育育成にも積極的な姿勢などは高評価であります。

本件施設の機械設備について、建設に伴う瑕疵担保期間が今年度末で切れることから、適切な保守及び整備を行う必要がありその趣旨を理解し、スマートデバイス等を活用した点検システムの導入により、組合とリアルタイムでの情報共有が可能となり、施設の維持管理において大変有効であると評価いたします。

さらに、次年度からは、ごみ組成調査を年6回構成市ごとに行い集計・分析することで、その傾向を運転管理へ反映させ、また、ごみ組成調査に併せて、展開検査も実施し、収集車番号や禁忌品混入状況等取りまとめることで、更なる資源化促進に向けた分別排出の啓発につながるものと期待します。

ヒアリングにおいて、事業継続実施や組合への協力体制等、高い熱意が感じられるものであり、効率的な資源物の処理方法や売却手法において、同種・類似施設の運転管理を数多く実施してきた経験を生かした、提案を約束していただけたことも高評価で、本事業を継続して実施していく上で期待できる提案でありました。

今回、最優秀者に特定された事業者には、業務の実施について組合と十分な協議を行い、今回の審査に携わった委員の意見を反映して業務を進めて頂くことを希望します。

Ⅲ 審査の経過

審査の経過は下表の通りです。

審査の過程

日 程	内 容
平成29年	
11月21日	第1回選定委員会
11月27日	募集要項等の公表
11月30日	募集要項等への質疑受付締切
12月 5日	募集要項等への質疑回答
12月 8日	参加表明書の受付締切
12月19日	参加資格確認の通知発送
平成30年	
1月12日	提案書の提出期限
1月26日	第2回選定委員会（ヒアリング、最終審査）

以上